

文化資料館(仮称)の機能イメージ及びコンセプト

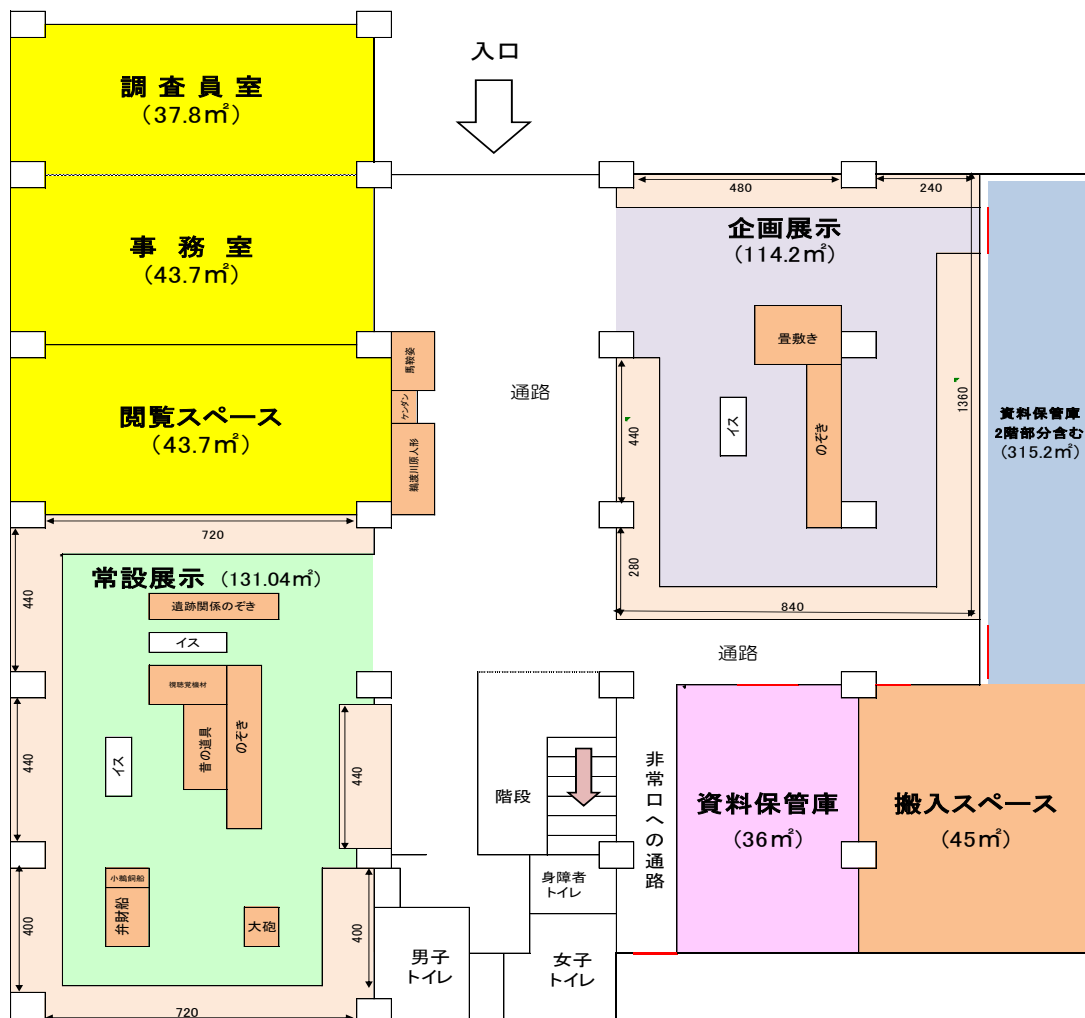
現状○と課題●

光丘文庫	○他に類をみない郷土資料の集積 ●仮移転後、利用者が大きく減少 ●ICT化による利便性向上が急務
資料館	○機能面で光丘文庫と重複 ●施設の老朽化(築43年) ●狭隘な施設
市史編纂	○平成23年発行の平田町史年表が最後 ●今後の編纂の方向性が未定
公文書館 (新設)	○酒田の歴史を語る第一級の資料 ●分散保管され、未活用(目録未整備) ●閲覧環境(公開基準等)も未整備

文化資料館(仮称)

- ◇酒田の過去の出来事を総合的に取扱う情報インフラ施設
- ◇誰もが容易に歴史情報にアクセス可能な環境を整備
- ◇中央図書館(ミライニ)では物足りない人へ

1階レイアウト(案)



※このほかに3階(現図書館事務室、学習室等)と閉架書庫2階を資料保管庫として使用予定
 現資料館は当分の間、収蔵庫として使用する予定